

=業界情報=

全国の整備相談所に寄せられた整備相談事例 Vol.117

【内容】 2回も高額修理したのにエンジンチェックランプが点いた

・車名：輸入車 ・登録年月：平成26年3月 ・走行距離：15.5万km

輸入車ディーラーから新車を買い、全てのメンテナンスを任せている。昨年、5年目の車検をお願いしたが、半年後にエンジンチェックランプが点灯、エンジンが振れてエンストしそうになったので、ディーラーに入庫して8万円払って修理した。それから1か月後、再びチェックランプが点灯しエンジンが不調になったのでディーラーに入庫、27万円支払ってIGコイルと点火プラグを交換修理したものの、納車後すぐにまた同じ症状になった。このディーラーに不信感を抱いており、再入庫する前に自分の気持ちを聞いてもらおうと振興会に電話した。

【対応】

振興会の立ち位置を説明して修理内容を確認すると、最初はサーモスタットの交換、次は点火プラグ等の交換、それ以外のことは記憶していないと言われた。「自分は車の構造に疎い」、「説明されたが理解できなかった」とも言っていた。ディーラーに事実確認する承諾を得ようとしたが、「同じ症状で2回も修理しているのに直らず、もっと高額な修理代を請求されたら困る。直せないのは腕が悪いのではないかと不信感を抱いており、別の専門店で修理してもらおうかとも考えている」と言われた。そこで、「今までの修理歴を最も把握しているのはこのディーラーですし、2回とも同じご用命なのに直らなければ、再修理してもらえるのではないか」「有料・無料・安くなる」とは言えないが、もう一度入庫して見積りしてもらい、納得いくまで説明を求めてはいかがか」と助言したところ、「もう一度だけディーラーに連絡して点検してもらう。対応次第では別の専門店を探します。また相談にのって下さい」と言われ電話を切った。

その後、相談者より再び入電。「家内と相談し、構造的なことがわからないので、振興会からディーラーに確認してその内容を自分に教えてほしい」と頼まれたので、ディーラーに事実確認した。サービスマネージャーによれば、「9月入庫時はエンジンチェックランプが点灯、エンジン不調の症状はなかったが、異常コードが出ていた電子制御式サーモスタットを交換した。この作業は6万円で、追加のエンジンオイルとエレメントの交換でトータル8万円程いただいた。次の入庫時は点火プラグとコイル、1本が不良だったが、走行距離数が多いので全数交換をお勧めした。また、エンジンオイルの漏れも確認したので作業を行い、ベルトテンショナーから異音があり交換した。今回、再びチェックランプが点いたので、営業担当者と打ち合わせ、相談者にお詫びと今までの作業内容を説明、再入庫のお願いをする」とのこと。相談者にその内容をわかりやすく説明し、「ディーラーとよく話し合って下さい」と言い電話を切った。

e-Power 車両の近接排気騒音測定時に関する注意事項

日産自動車株式会社

■概要

e-Power 搭載車両の近接排気騒音測定の際は、正しい測定条件で実施していかないと正確な測定ができない可能性があります。測定時には以下のことに注意していただきたく、ご案内いたします。なお、場所によっては音の反射等により正確な数値が測定できない場合がありますので、測定場所につきましては「審査事務規程」に則っていただきますようお願ひいたします。

■測定時の注意点

☆測定条件：車両のリチウムイオンバッテリーの残量が 50%以上 80%未満の状態

本車両は、リチウムイオンバッテリー残量によりレーシングができない状態があります。※1

下記 1)～4) をすべて満足した状態で、測定を実施してください。

- 1) 車両のシフトポジションを P にする。
- 2) 車両の状態を READY 状態にする。
- 3) リチウムイオンバッテリー残量が 50%以上 80%未満の状態であることを確認する。※2
(インジケーターが半分以上、かつ MAX ではない状態)
- 4) ブレーキを踏まない。

上記 1)～4) をすべて満足した状態で、アクセルペダルを踏み込み、原動機回転計や診断機等で試験回転数（例：セレナ 3750rpm）に合わせて測定してください。

※1 リチウムイオンバッテリー残量によるレーシングの制約理由について

リチウムイオンバッテリー残量が 50%未満では、再始動の条件から、エンジンがレーシングしない設定になっています。

また、リチウムイオンバッテリー残量が 80%以上では、バッテリー過充電防止のため、エンジンが燃焼しない、モータリング状態になります。

※2 リチウムイオンバッテリー残量の調整方法について

- a) リチウムイオンバッテリー残量が 50%未満の場合
 - a-1) READY 状態でエンジンが回転している場合
シフトポジション P のまま、バッテリー残量が回復するまで待機してください。
 - a-2) READY 状態でエンジンが停止している場合
フードを開けることで、エンジンが始動します。シフトポジション P のまま、バッテリー

残量が回復するまでフードを開けたまま待機してください（約 1 分目安）。

バッテリー残量が回復後はフードを閉め、測定を開始してください。

- b) リチウムイオンバッテリー残量が 80%以上の場合
 以下 2 つのうちの、いずれかを実施してください。
- ① エアコン・ライト・ウィンカーなどの補機類を ON にし、シフトポジション P のままバッテリー残量が下がるまで待機してください。
 - ② 対象車両の整備マニュアル参照
 - ・故障診断⇒電動パワートレイン/EV コントロールシステム/基本点検/整備モード (HV バッテリ消費モード) を参照してください。

■対象車種

平成 28 年近接排気騒音規制対象の e-Power 搭載車両

関係団体人事異動について

【独立行政法人自動車技術総合機構 関東検査部 山梨事務所】

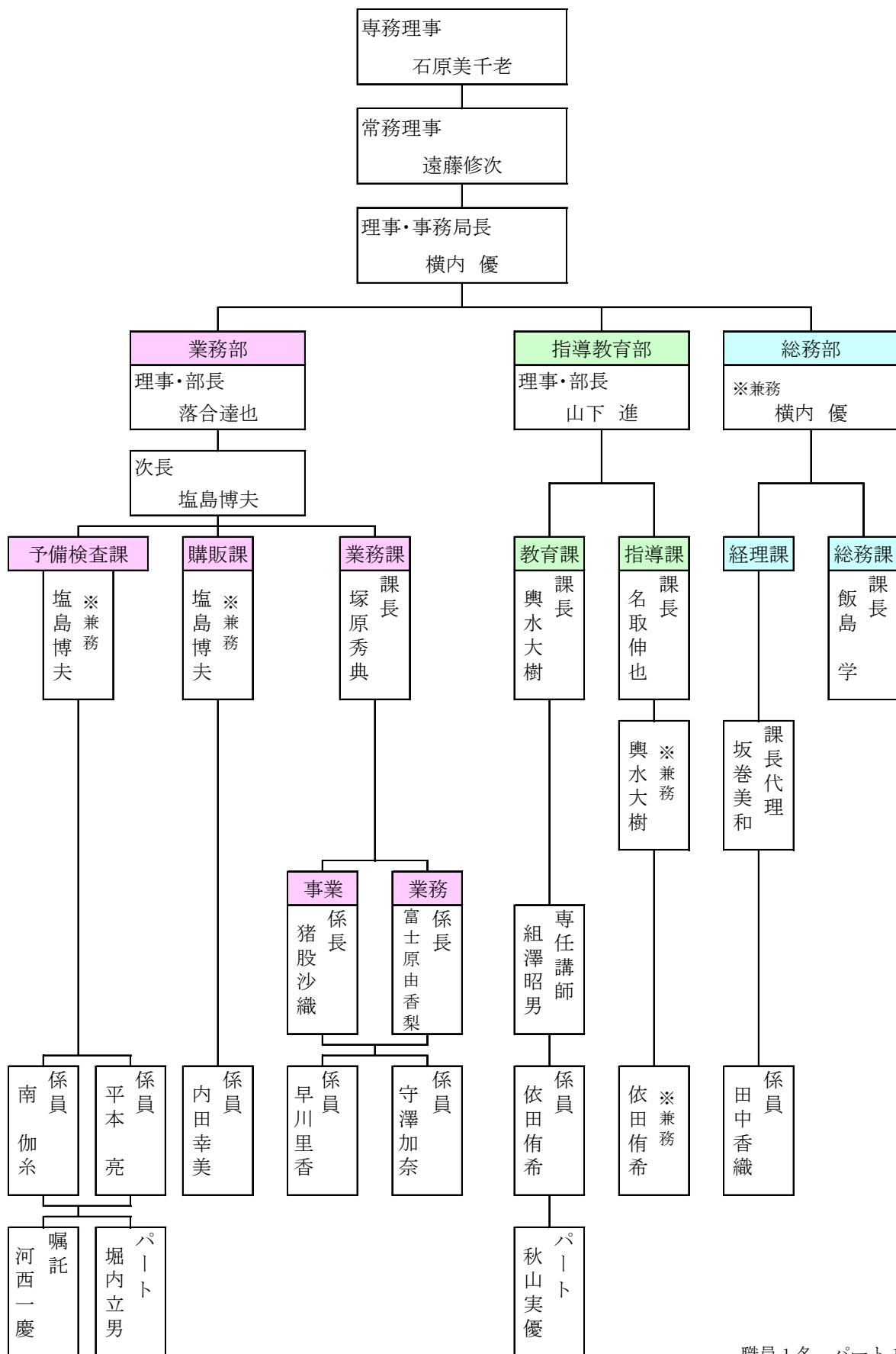
新 所 属	氏名	旧 所 属
関東運輸局 東京運輸支局 陸運技術専門官(整備)	沼田 幸弘	関東検査部 山梨事務所 主席自動車検査官
関東検査部 山梨事務所 主席自動車検査官	富沢 武	関東検査部 八王子事務所 主席自動車検査官

【軽自動車検査協会 山梨事務所】

新 所 属	氏名	旧 所 属
神奈川事務所 湘南支所 業務課長	曾根 文男	山梨事務所 業務課長
山梨事務所 業務課長	地野 起司	東京主管事務所 多摩支所 業務課長

事務局組織図について

令和3年10月1日現在



職員 1名、パート 1名退職

構内事故注意!!!

アクセルとブレーキの操作
に関連した事故が多発しています。
エンジンの始動・前進・停止は焦らず、確実な操作をお願いします。

無理な運転体勢になつていませんか？

ペダル類が滑りやすくなつていませんか？

足下に運転操作の妨げになるような物は

軽自動車検査協会 山梨事務所